

瀬部小だより 9月号

平成18年9月1日



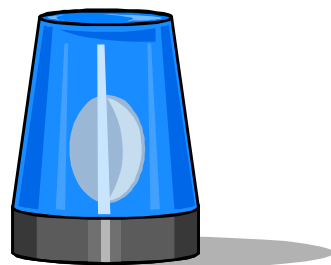
1 青色回転灯パトロール車出発式<7月20日>

協和会の方々を初め時之島・瀬部両町内会のご努力によって、青色回転灯出発式が瀬部小学校の屋内運動場で開催されました。

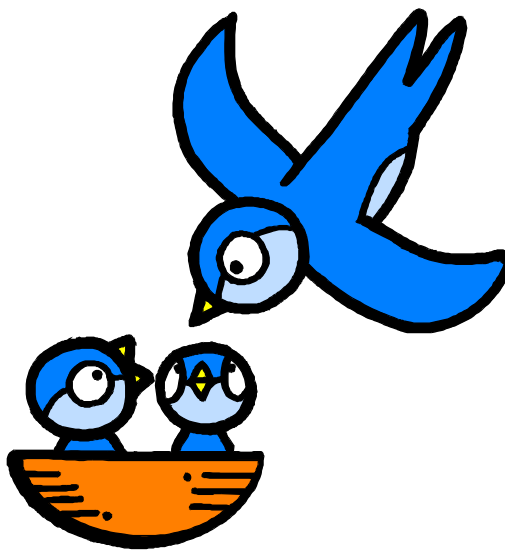
水曜日と土曜日の夜には、恒例の拍子木の鳴る音が闇夜に響きます。この音が聞こえると「防犯に、火の元に注意しなければ」と誰もが思うそうです。そして、昼間は、児童の安全のために青色回転灯で校区内をパトロールしてくださるとのことです。ボランティアで参加して下さる地域の皆さんに頭が下がります。

11時からの式典には、瀬部小学校児童会の代表が、参加しました。地域の方々、協和会の方々、市の助役さん、一宮警察署の方々の参加で盛大に行われました。当日の記念演奏として、西成中学校のブラスバンド演奏も行われ、青色回転灯パトロール車出発式は盛り上がりました。最後に、式典に参加していた5名の児童会代表がテープカットをしました。児童会のメンバーの顔が輝いていました。

また、全校児童には、終業式で、その意義と目的を話しました。子どもたちの安全のために立ち上がった校区の方々の勇気に心より御礼申し上げます。



2 ツバメ巣立つ・・・親鳥は最後まで・・・



4月の初めに、東昇降口にツバメが巣をかけました。今年は、ツバメが巣立つといいなと思っておりました。しかし、5月24日ごろに、雛がカラスに襲われてしまったのです。約1週間後の5月31日（水）に燕がまた同じ巣跡を修復して、巣を作り始めました。そして、6月1日（木）の午後6時ごろには巣は完了しました。翌日の6月2日（金）朝6時45分ごろ、なんとまたカラスが、校歌碑の上に飛び降り、ツバメの巣を鋭い眼で覗いておりました。燕の親は、危険を感じて、けたたましく泣き叫んで

いました。これはいけないと思って昇降口まで走ったときには、カラスは飛び去っていま

した。幸いまだ巣は壊されてはいませんでした。どうも、この前の燕の巣は、カラスがねらって、食べてしまったもののようです。何とか燕を守って、巣立ちができるようにしてやりたいなと思っていました。7月17日(月)〈海の日〉午前9時ごろ、雨が降る中、校歌碑の上で4羽は、何度もはばたきの練習をしていました。飛べるようになったのです。その時です。親鳥が飛んできたのです。おやっと思ってみていると、なんとはばたきの練習をしている子どもにも、えさを運んできているのです。びっくりしました。親は飛び立つときまで、子どものことを思っていることに気づきました。11時頃には、もうツバメも飛んでいってしまいました。人間も鳥も、子を思う心はある意味では同じなのだなと思いました。瀬部小のやがては巣立つであろう子ツバメたちにも「負けずに元気でがんばれよ！」と心の中でエールを送りました。

3 子どもたちの活躍・・・市長表彰



昨年度のホームページの活動(平成17年度の県代表、応援団賞の受賞)が優秀であったとの理由で、7月24日に市長さんから瀬部小のパソコン委員会の代表児童に表彰状が渡されました。なお、今年度も、瀬部小学校のホームページは連続して県代表に選ばれています。

また、8月26日小学校合唱祭では、元気に合唱できたということで、瀬部小・浅野小の合同チームが市長さんから、表彰を受けました。参加した21名の児童は喜びで盛り上がりました。5月からの練習の成果であったと思います。このように瀬部小学校児童の活躍が評価されることはうれしいかぎりです。

4 新学期の出発



いよいよ新学期が始まります。まだまだ暑い日が続きます。9月7日(木)までは、どの学年も午前中4時間の授業です。この時期に、体調を整えて、10月1日(日)の運動会で体力づくり、そして11月19日(日)の学習発表会で表現力やコミュニケーション能力を高めたいと思います。どうか子どもたちのよりよい成長のために手を取り合って努力しあいたいと思いますので、2学期もよろしく願いいたします。